

第22回 理科サロン

細胞の中のタンパク質の一生



東北大学多元物質科学研究所 教授

稲葉 謙次 先生

タンパク質は生物の体内で起こるほとんど全ての化学反応に関係しており、我々が生きていく上で最も大切な分子です。タンパク質は、細胞の中で合成され、機能を発揮し、そして最終的には分解除去されます。すなわち、細胞という世界の中で、タンパク質はその一生を経験していくのです。

何らかの理由により異常な構造や性質をもつタンパク質が細胞内に蓄積すれば、アルツハイマー病やパーキンソン病、さらには糖尿病なども引き起こされることが知られています。

本講演では、細胞の中でタンパク質がどのように合成され、特有の立体的な形を取って役割を果たし、そして何時どのように分解されていくのか、その仕組みを分かりやすく解説します。

日時：3月4日（金）

午後6時～8時 サロン
午後6時半までは稲葉先生
を囲んで夕食（*）

場所：けやきの会事務所 →

豊中市千里園2-1-37
(電話 06-6857-2562)

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。
飲み物は用意しています。また、
時間ぎりぎりになられる方のために
軽食を用意しています。

